

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 7 部門第 2 区分

【発行日】 令和 5 年 10 月 4 日 (2023.10.4)

【国際公開番号】 WO2022/154009

【出願番号】 特願 2022-575605 (P2022-575605)

【国際特許分類】

H 1 0 K 50/805(2023.01)

H 1 0 K 50/00(2023.01)

H 1 0 K 50/10(2023.01)

H 1 0 K 50/81(2023.01)

H 1 0 K 50/816(2023.01)

H 1 0 K 50/82(2023.01)

H 1 0 K 50/826(2023.01)

H 1 0 K 102/10(2023.01)

H 1 0 K 102/20(2023.01)

【F I】

H 1 0 K 50/805

H 1 0 K 50/00

H 1 0 K 50/10

H 1 0 K 50/81

H 1 0 K 50/816

H 1 0 K 50/82

H 1 0 K 50/826

H 1 0 K 102:10

H 1 0 K 102:20

【手続補正書】

【提出日】 令和 5 年 7 月 12 日 (2023.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0028

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0028】

第 1 電極 110 は、透光性を有している。第 1 電極 110 は、第 1 面 102 上に位置している。第 1 電極 110 は、陽極として機能する。一例において、第 1 電極 110 は、ITO (Indium Tin Oxide)、IZO (Indium Zinc Oxide)、IWZO (Indium Tungsten Zinc Oxide)、ZnO (Zinc Oxide)、IGZO (Indium Gallium Zinc Oxide) 等の酸化物半導体を含んでいる。或いは、第 1 電極 110 は、純銀、銀合金等の金属を含んでいてもよい。この例において、第 1 電極 110 の厚さは、第 1 電極 110 が透光性を有する程度に薄くなっている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0061

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0061】

一例において、第 1 面 102 又は第 2 面 104 に垂直な方向から見て、隣り合う第 1 金

10

20

30

40

50

属含有層 1 3 2 の間における透光部 1 4 4 の幅  $W_2$  は、0 . 0 5 0 mm 以上 2 . 0 mm 以下にすることができる。幅  $W_2$  が当該一例の範囲にある場合、幅  $W_2$  が当該一例の範囲の下限より小さい場合と比較して、発光装置 1 0 の透光性を高くすることができる。また、幅  $W_2$  が当該一例の範囲にある場合、幅  $W_2$  が当該一例の範囲の上限より大きい場合と比較して、複数の発光部 1 4 2 の全体の発光面積を大きくすることができる。なお、幅  $W_2$  は、当該一例に限定されない。

10

20

30

40

50